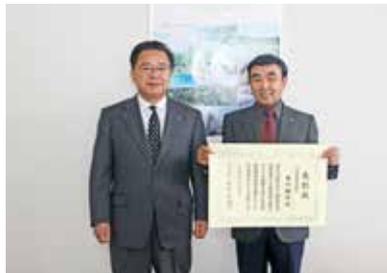


受賞・HOT コミュニケーション

北海道社会貢献賞を受賞

社会福祉の増進に貢献された民生委員・児童委員の曾川昭治さんに北海道社会貢献賞が授与され、11月8日に、後藤町長へ受賞報告が行われました。曾川さんは19年間の活動で、民生委員・児童委員



として社会奉仕の精神を持ち、地域の見守りや相談などの活動に取り組み、地域住民の福祉の向上に貢献されています。

厚生労働大臣表彰（栄養関係功労者）を受賞

当別町食生活改善推進協議会の会長も務めた荒戸恵子さんに厚生労働大臣表彰が授与され、11月11日に、後藤町長へ受賞報告が行われました。荒戸さんは36年間の活動で、健康的な食生活の普及として、



町内の野菜を用いたヘルシーレシピの配布や試食会を開催し、町の健康づくりと地産地消の取り組みに尽力されています。

ふれあい倉庫に響くクラシックの名曲

当別在住の音楽家を中心となりピアノ・ヴァイオリン・オーボエの編成で活動する「Berrich アンサンブル」のオータムコンサートが10月26日にふれあい倉庫で開催されました。4人のメンバーの組



み合わせにより様々な編成で奏でられるクラシックの名曲が館内に響き渡り、満席の会場の観客を魅了しました。

そばを通じてコミュニケーションを

10月30日に、当別町社会福祉協議会の協力のもと「そば処福住」が旭町と錦町の高齢者10名を招き、無料でそばを提供しました。招待を始めて20年になり「出歩く機会が減った方に、集まって食事を楽



しんで欲しい」と鶴野店長。参加者は「とても美味しい。みんなで食べるのは最高」と笑顔でそばを啜っていました。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

一球に熱い気持ちを込めて

「第13回 ドッジボールマッチ」が11月9日に総合体育館で行われ、小学校低学年の部4チーム、高学年の部5チームの計9チーム79名が参加しました。味方から「あっち狙って!」と声上がる中、パスを



回しながら相手に迫り、豪快なフォームでボールを投げ込む児童たち。白熱した試合に会場内は盛り上がりを見せていました。

親子で楽しむ「いーなとうべつ」

11月17日に、太美西町内会主催の「いーなとうべつ」が西当別コミセンで開催され、多くの来場者で賑わいを見せました。会場にはDIYやスライム作り、バランスボール体験など9つのブースが設



置。ステージではダンスや演奏が披露され、観客が参加できる場面もあり、親子で楽しいひと時を過ごしていました。

当別町赤十字奉仕団創設60周年記念式典

地域での奉仕活動を行う当別町赤十字奉仕団（今村妙子委員長）の創設60周年を記念した式典が11月15日に、ゆとろで開催。今村委員長は挨拶の中で10年間の活動を振り返り、皇居での勤労奉仕をはじめ、当別神社のあ



やめ園の手入れや墓地清掃など、団員の活動に感謝し、今後も奉仕活動を絶やさないことを誓いました。

レクサンド市からの贈り物

「スウェーデンの暮らしの手仕事・テキスタイルと雑貨展」が11月21日から24日まで、ふれあい倉庫で開催。会場では、スウェーデン・レクサンド市のKeiko Larssonさんが収集した北欧雑貨な



どが展示販売され、訪れた方は「布の柄がオシャレで冬の季節に合う。クリスマスに飾ってみたい」と話していました。

広 告

広 告